



# ほしぞら通信

2023年  
11月号

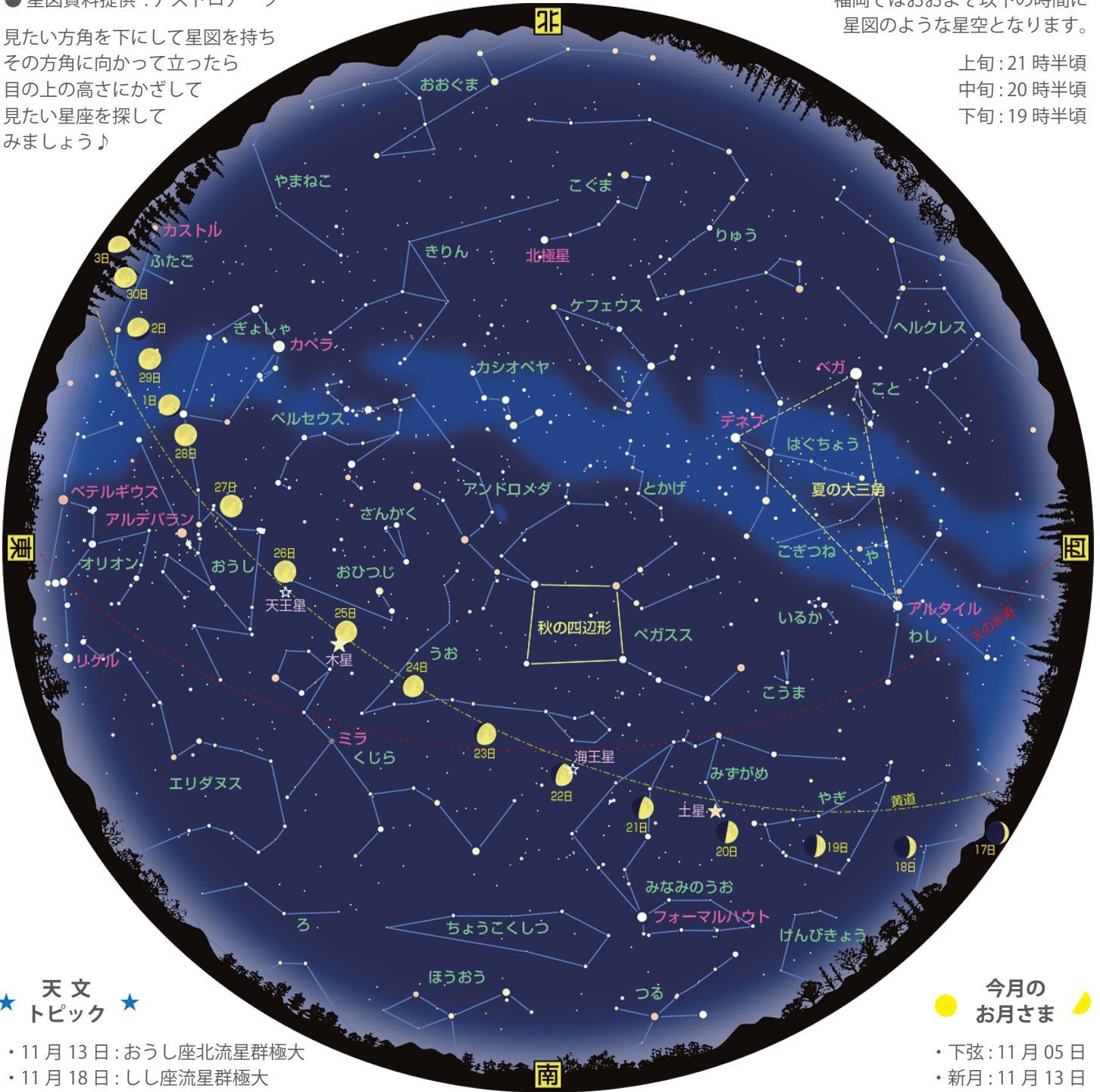


● 星図資料提供 : アストロアーツ

見たい方角を下にして星図を持ち  
その方角に向かって立ったら  
目の上の高さにかざして  
見たい星座を探して  
みましょう♪

福岡ではおおよそ以下の時間に  
星図のような星空となります。

上旬 : 21 時半頃  
中旬 : 20 時半頃  
下旬 : 19 時半頃



## ★ 天文 トピック ★

- ・ 11 月 13 日 : おうし座北流星群極大
- ・ 11 月 18 日 : しし座流星群極大
- ・ 11 月 20 日 : 月と土星が接近
- ・ 11 月 25 日 : 月と木星が大接近

## ● 今月の お月さま ●

- ・ 下弦 : 11 月 05 日
- ・ 新月 : 11 月 13 日
- ・ 上弦 : 11 月 20 日
- ・ 満月 : 11 月 27 日

【11月の満月】 ビーバームーン (ビーバー月)

## ★★ 星の歳時記 ★★

2023年もあつという間に11月。昔はもっと深まった秋を楽しむ余裕があったように思うのですが、大人になったせい、忙しい時代になったせい、もう来年のことを考えている時間が多くなりました。もうちょっとのんびり暮らしたいなと考えてしまったりして…。

ただ一日が終わって夜空を見上げると、星たちのめぐりは変わらずに、正確に時間を刻んでいることがわかります。そうそう、秋の星空には夏と冬のそれぞれの星空の間にあるということをよく実感できる時間帯もあるので、今回はそれをご紹介します。

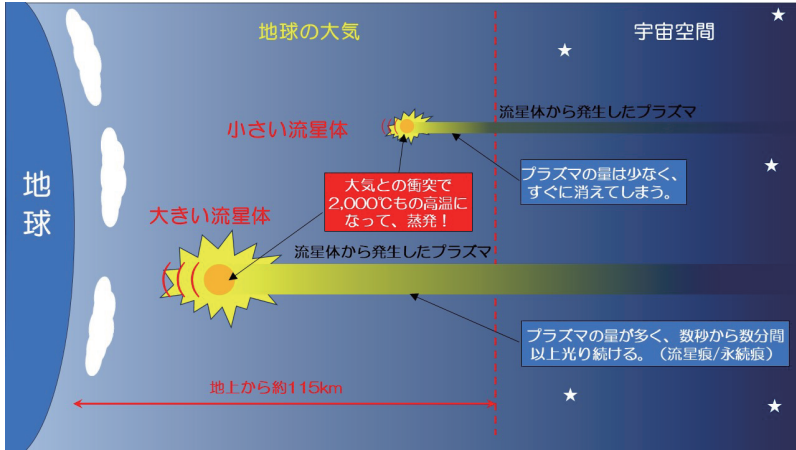
夏の目印「夏の大三角」と冬の目印「冬の大三角」は、きれいに180度反対側に位置するわけではなく、夏の大三角が意外と東側の空にあって、つまり二つの三角形は秋側に偏っているの、両方を同じ晩秋の星空に見ることが出来るのです。

初旬だと23時30分ごろ、下旬だと21時30分ごろ、西に沈んでいく夏の大三角、東に昇ってきたばかりの冬の大三角を同時に探すことが出来ます。両方とも地平線に近いので場所によっては条件が厳しいですが、ぜひチャレンジしてみてください！



**見るなら  
今でしょ!!**

11月には2つの流星群を見ることができます。まずは、11月13日頃に最も多く流れる「おうし座(北)流星群」、明るくゆっくりと流れる流星が特徴です。また、見られる期間が非常に長く、10月の中旬から11月末まで見ることができます。もうひとつは、11月18日頃の「しし座流星群」、明るく速い流星が特徴です。



見られる期間は短く、11月18日をはさんだ2週間程度です。いずれもじまな月明かりが無く、見るのには良い条件です。

流星は、流星の元となる砂や塵などの天体（流星体）が、1秒間に数kmから数十kmというすごい速さで地球の大気にぶつかることにより、流星体が2,000°Cもの高温となって蒸発し、プラズマというガスが発生して光ります。おおよそ高度115kmくらいの上空で光り出すと言われています。

小さな流星では発生するプラズマの量は少ないので、流星体が流れると同時に拡散し、

すぐに消えてしまいます。これが大きな流星だと発生するプラズマの量も多くなり、流星体が流れた後、数秒間くらい光が残ることがあります。これを「流星痕(りゅうせいこん)」と言います。

特に大きな流星では、流星痕が数分以上にわたって見られることがあり、特に「永続痕(えいぞくこん)」と言います。見ることができれば本当にラッキーですよ。

『名月色々』

皆さんは今年の中秋の名月は見られましたか？  
中秋の名月は旧暦の8月15日で今年は9月29日でした。別名芋名月。



その翌月、旧暦の9月13日の十三夜、今年は10月27日でした。こちらは別名栗名月。中秋の名月を見た後は、この月も見ないと片見月と言って縁起が悪いといわれていたようです。

さて、芋名月・栗名月のさらに翌月には「十日夜（とおかんや）」と言って、その年の収穫が終わった事を喜び翌年の豊穰を祈って田の神様に感謝をするお月見があります。十日夜は旧暦の10月10日、今年は11月22日です。三回目のお月見なので「三の月」と呼ぶこともあるそうです。

十五夜・十三夜・十日夜の3つ（三月見）すべて晴れた時に見られると縁起が良いようですよ（^^）

今年のお月見、皆さんは各月の綺麗なお月様が見られたでしょうか？



私は時代劇小説が好きで読んでみると、新春（一月）に梅の香りが漂う・・・？などと書かれてあり、そうか季節は旧暦で表現されているのだと気づかされます。



もともと旧暦は中国の唐から日本に入り、江戸時代の初めまで朝廷貴族や陰陽師によって使われたそうです。

でも、江戸時代徳川綱吉の頃にある星を調査のすえ、20 数年後に日本独自の暦を作り天文方という星を観測する役職を初めて設置したそうです。

調査の目安となったのは北の空に輝く北極星。この話を題材に書かれた本があって、題名は「天地明察」大好きな岡田准一さん主演で映画にもなりました♪

秋の夜長に本や映画をぜひご覧になりませんか♪



Junko. T

**定例観望会開催のお知らせ**

開催予定日 << 要予約 >>  
11月18日(土)・12月16日(土)  
(開始時間 18:30~) (開始時間 18:30~)

開催場所  
志摩中央公園グラウンド（糸島市志摩初）

※ 雨・天候不良時は中止となります。  
当日の天候によって開催状況が変わる可能性があるため、当日17時までにホームページ・Instagram・Facebookでお知らせします。確認いただき、ご来場をお願いします。

**お問い合わせ・お申し込み**

● 平日 (08:30~17:15) ● ● 観望会当日 (14:00~21:00) ●  
糸島市生涯学習課 星空ナビゲーター 携帯  
092-332-2092 080-8050-8609

↑前日までのご予約はこちらへ↑ ↑当日問い合わせはこちらへ↑

いとゴンマークの「天文台号」が目印ですよ~♪



こちらで情報を発信しております。何かお問い合わせがありましたら、メッセージ等でお問い合わせください。

ホームページ



いしまた天文台 検索

Instagram



ITOSHIMA.TENMONDAI

Facebook



いしまた天文台

★編集後記★ほしぞら通信の編集作業をしていたら、テレビから歌手の谷村新司さんの訃報が流れてきました。谷村さんと言えば、やっぱり名曲『昴(すばる)』。昴が、おうし座の散開星団プレアデス星団の和名だと、この曲で知った方も多いかも知れませんね。夜空に昴が見える季節がやってきました。空を見上げて昴を探しましょう（^-^）/

